

日本臨床検査学教育協議会
令和6年度 第3回理事会 次第

開催日：令和6年12月2日（月）13時—14時40分

場 所：ZOOM 会議

構成員数：理事20名、監事2名

出席者数：理事16名、監事2名

出席理事：坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、市野直浩、小野川 傑、三浦昌人、松田洋和、吉田祥子、大瀧博文、松林こずえ、野島順三、石井直仁、多田達史、山口 聡、勝田 仁、高崎昭彦

出席監事：上原昭浩、伊藤昭三

委任状：關谷暁子、富山智香子、中前雅美

オンラインゆえ、参加者全員へ音声確認と意思疎通が行えることを確認し、13時から開始。

報告事項

- 1) 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会
期間：令和6年8月23日～8月24日
場所：新潟大学医学部保健学科
参加人数：408名
日本臨床検査学教育協議会加盟校教員：240名
学生・大学院生：77名
日本臨床衛生検査技師会会員：8名
招待ご登壇者：10名
協賛団体参加者：65名
上記以外の参加者：8名
- 2) 臨地実習指導者講習会
令和6年11月19日時点の状況：1912名が修了し、1246施設に在籍
令和6年度末で、施設から最初の1名につき本会から受講費助成は終了
2月24日と3月2日に追加開催予定、確定次第に以下で公表
<https://www.jamt.or.jp/studysession/onsite/>
- 3) 教育内容5年毎見直しに向けた事前調査
会員校へメール添付で案内し、会員校専用ページにも掲載
https://www.nitirinkyo.jp/member_news/post1745
- 4) タスク・シスト/シェアに関する動画教材

2つの動画教材が完成し、ダウンロード先を会員校へ案内済だが、すでにダウンロード期限が過ぎているので、期限を延長してダウンロード先を臨時総会で再度案内予定

- ① 血液成分採血装置を操作する行為
- ② 運動誘発電位検査、体性感覚誘発電位検査にかかる電極（針電極を含む）の装着及び脱着

5) 委員会及び部会報告

調査研究委員会：松田洋和

令和6年度 調査研究委員会アンケート調査

『令和5年度卒業者・修了者の進路状況および令和6年度入学状況』

アンケート調査結果を会員校へ配信し、会員校専用ページへ掲載。

地区部会委員会：松林こずえ理事

近畿中国四国部会：2024年9月11日（水）第1回近畿中国四国部会役員会（ウェブ会議）

北海道東北部会：2025年1月予定 令和6年度（第48回）北海道・東北部会総会（ウェブ会議）

研修委員会：山口聡理事

教員研修の開催方法について

先に実施したアンケート結果を参考に、総会とは別日程での開催を検討中。

現在、R6年度末の開催に向けて準備を進めている。

教員研修の録画と公開について

講師の承諾を得られた場合、研修内容を会員限定で公開する。

編集委員会：多田達史理事

第18回日本臨床検査学教育学会学術大会の講演・教育シンポジウムを含む第17巻1号を編集集中

国家試験対策委員会：大瀧博文理事

2024年（R6）度模擬試験

模擬試験申し込み数：79施設 3867部、（前年度との比較：1施設増改，71部増加）

2025年（R7）度模擬試験

問題作成と編集者の選出について（試行）

☆ 従来のアンケートによる希望者と科目別分科会での選出，の併用で実施を予定

☆ 科目別分科会からの選出がない場合は従来のやり方で募集する

2025年（R7）度スケジュール案

日本臨床検査学教育協議会国家試験対策委員会・令和6年度活動案				
作成，編集・校正担当を分科会とアンケートの2本立てで行う場合				
		start	end	担当
1	分科会委員長に作成者・編集者選定依頼	2月初め		委員長
2	分科会での決定・委員会への連絡期限		2/24（月）	委員長
3	問題作成者アンケート作成	2/17(月)	2/21(金)	委員長、副委員長
4	問題作成者アンケート送付先リスト作成	2/17(月)	2/21(金)	委員長
5	作成者アンケートのメール送付（回答期限3/29（金））	2/25（火）	2/28(金)	事務局
6	アンケート返送確認と未返信校への再依頼(mail)	3/24(月)		委員長
7	問題作成要項と問題フォーマットの確認	3/3(金)	3/31(月)	委員長、副委員長
8	アンケート集計	3/31（火）	4/4(金)	委員長
9	問題作成者決定	4/7(月)	4/10(木)	委員長
10	問題作成者依頼文書・リストの作成	4/10(木)	4/14(月)	委員長
11	問題作成者へ送付する要項・フォーマットの個別作製	4/14（月）	5/1（木）	委員長
12	問題作成者依頼文書発送作業	4/14（月）	4/21(月)	事務局
13	問題作成者の了承確認	4/14（月）	5/8(木)	副理事長、委員長
14	問題作成委嘱状発送を理事長に依頼	5/9(金)		委員長
15	問題作成要項、問題フォーマットを作成者に送付	5/9(金)	5/15(木)	委員長
16	問題作成＋編集・校正者への送付	5/16(金)	6/9(月)	各作成者
17	委嘱状の発送	5/16(金)		事務局
18	依頼しなかった方へのお礼メール送付	5/16(金)	5/23((金)	委員長
19	問題作成者へのリマインドメール	6/2（月）		委員長
20	問題編集（委員会または分科会選出編集者）	6/10(火)	7/7(月)	対象分野委員または編集・校正
21	編集・校正後問題集約	7/8(火)	7/11(金)	副委員長
22	（文章などの）二次校正	7/16(火)	7/26(金)	委員全体
23	二次校正後原稿集約	7/29(月)	8/4(木)	副委員長
25	原稿入稿期限		8/8(金)	副委員長
26	初稿作成		9/4(水)	印刷所
27	初稿校正（三次校正）	9/4（水）	9/9(月)	委員会全員
28	三次校正後集約	9/9(月)	9/13(金)	副委員長
29	三次校正を印刷所に提出		9/13(金)	副委員長
30	別冊再校正（最終校正）		9/22(金)	副理事長、委員長、副委員長
31	問題・解答・解説の再校正（最終校正）		9/22(金)	副理事長、委員長、副委員長
32	梱包・発送		10/11（金）	印刷所
33	注文部数、謝礼金などの報告			委員長、副委員長
34				
35	模擬試験問題受注案内文面作成	5/17(金)	5/21(火)	委員長
36	模擬試験問題受注案内送信		6/5(水)	事務局
37	再受注案内送信	6/17(月)	6/21(金)	事務局
38	受注受付期間		7/5(金)	
39	受注数集計	7/8(月)	7/12(金)	事務局
40	印刷所見積もり		8/6(火)	副理事長
41	謝礼金支払い口座連絡の案内送信		9/2(月)	事務局
42	謝礼金支払い一覧作成		10/4(金)	委員長
43	模擬試験代金支払い期間		10/24(木)	
44	各校からの支払い状況確認		10/31(木)	事務局
45	謝礼金送金		11/7(木)	事務局
46	印刷業者への支払い		11/14(木)	事務局

学会運営委員会：勝田仁理事

第19回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：廣畑 聡（岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻）

副大会長 勝田 仁 九州大学(教授)

実行委員長 佐藤 康晴 岡山大学(教授)

副実行委員長 勝山 恵理 岡山大学(准教授)

事務局長 渡辺 彰吾 岡山大学(教授)

副事務局長 後藤 和義 岡山大学(准教授)

協議会事務局 小野川 傑 日本臨床検査学教育協議会（常務理事）

期 日：令和7年8月21日～8月22日（2日間）

会場：岡山大学医学部保健学科（岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1）

第19回 日本臨床検査学教育学会学術大会プログラム概要

学会テーマ 「臨床検査の未来に灯火を一挑戦する若手活躍の場」

1日目

開会式

開会挨拶 理事長 坂本秀生

10：10-11：40 基調講演：頼りになる臨床検査技師を育てる卒前・卒後教育(仮)

12：00-13：00 ランチョンセミナー

13：30-15：00 シンポジウム：新カリキュラムについて（仮）

13：30-16：20 一般演題（大学院生、学部）

15：15-16：50 シンポジウム：科学研究費と研究の推進について（仮）

17：00-18：00 科目別分科会

2日目

9：00-11：20 一般演題(教員、学部)

11：20-12：20 特別講演：生涯教育・医療現場教育について（仮）

12：30-13：20 ランチョンセミナー

13：30-15：00 シンポジウム：若手教員の活躍する場：教育と研究（仮）

15：00-16：00 ワークショップ：臨地実習前技能到達度評価実施の現状と今後(仮)

16：00-15：30 優秀演題表彰式

16：30-17：00 大会長挨拶

閉会式

閉会挨拶 理事長 坂本秀生

次期大会長挨拶 副大会長 勝田 仁（九州大学）

第20回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：勝田 仁（九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野）

期日：令和8年8月27日（木）～28日（金）

学術委員会：高崎昭彦理事

令和6年度活動報告(～12/1)

令和6年度科目別分科会開催(令和6年8月23日 於：新潟大学)、11分科会が会場にて実施。
第1回学術委員会を開催(第1回令和6年11月14日 オンライン)。

臨地実習前技能修得到達度評価についての検討

- ・ 各分科会での検討結果を第1回学術委員会にて情報共有し、方向性を確認した。
- ・ 評価については最終的には全校で統一し、第三者評価を行うことを目指し準備する。評価項目については臨地実習で必ず実施させる行為を本評価のA項目として評価項目は変えずに進めていくこと、全国統一評価になるよう「チェックリスト」作成してはどうか。各分科会で評価内容のスリム化について検討すること。など情報共有した。

令和6年度分科会会長・副会長(R7.8まで)変更について(11/19現在)

<生体検査>(旧)

(新)

会長：所司睦文(京都橘大学) ⇒ 植松明和(大東文化大)
副会長：刑部恵介(藤田医科大) ⇒ 青柳ますみ(東洋公衆衛生学院)
和田晋一(神戸学院大) ⇒ 小野澤裕也(麻布大)
泉 礼司(倉敷芸術科学大) ⇒ 浦 みどり(神戸常盤大)
芝崎 翔平(杏林大)

<一般検査>(旧)

(新)

会長：大崎博之(神戸大) ⇒ 岡田茂治(埼玉県立大)
副会長：岡田茂治(埼玉県立大) ⇒ 坂口みどり(九州医学技術専門学校)
中村彰宏(天理大)

6) その他

特に無し

議案審議

第一号議案 顕彰委員会の発足

顕彰規定 第 3 条に基づき、本年度の顕彰委員会を以下の委員で構成し、永年精励賞対象者へ授与することが承認された。

委員長	三善 英知	大阪大学
委員	西野 康幸	日本医療学院専門学校
	本多 政夫	金沢大学
	吉田 祥子	東京工科大学
	石井 直仁	北里大学

永年精励賞：顕彰規程第 6 条 1 号に基づき、臨床検査技師教育に 20 年以上勤務した者として、正会員校から推薦を受けた方が対象。

第二号議案 国家試験問題検討委員会の発足

令和 7 年 2 月実施の第 71 回臨床検査技師国家試験問題検討委員会について、山藤副理事長を中心に国家試験問題検討委員会を発足することが承認された。

第三号議案 日本臨床検査振興協議会

賛助会員ではなく、オブザーバーとして参画することが承認された

第四号議案 関東・中部・甲信越部会の区分

関東・中部・甲信越部会の区分を見直しの意見が会員校から上り、同部会は会員校が 50 校以上と会員校の半分ほどが所属していることから、理事会で以下の 2 案を中心に検討開始。

案 1 「関東・甲信越(関東 7 都県、長野、新潟)」 「中部・北陸(静岡、愛知、三重、岐阜、石川)」

案 2 日臨技と共同開催事業(臨地実習指導者講習会、支部学会での学生フォーラムや中高生ガイドダンス)があり、日臨技の支部「首都圏」「関東・甲信」「中部圏」とする案もあるが、新潟県は日臨技の「北日本支部」に区分されているので、新潟県にある 4 校からの意見も伺い、区分を検討予定。

第五号議案 日本臨床検査学教育学会学術大会

今後の開催の学術大会にて 21 回の大会長、22 回の開催校が以下のように承認された。

第 21 回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：石井直仁(北里大学医療衛生学部医療検査学科)

期日：令和 9 年(予定)

第 22 回日本臨床検査学教育学会学術大会

開催校：東北大学

期日：令和 10 年(予定)

第六号議案 事前調査結果から教育内容見直しについて

日本臨床衛生検査技師会(日臨技)とワーキンググループ(WG)を設け、意見交換の事項について以下の経過報告があり、検討事項について今後も継続審議事項となった。

WG1 臨地実習について

- ① 新制度の内容から大きい変更の要望は無いが、実施すべき行為、見学すべき行為の微修正を要望したい。特に、肺機能検査。
- ② 臨地実習指導者が各施設に複数名在籍して欲しい
- ③ 臨地実習ガイドラインの内容、特に様式8の評価基準内容を見直して欲しい

WG2 学内教育について

- ① 生化学検査学と免疫検査学を合わせて6単位となっているが、分離を要望する
- ② 国家試験出題基準と教育内容の整合性をとって頂きたい。整合性を整えることが出来れば、新教育内容に準拠した教科書の発行も可能となる
- ③ 教育上必要な機械器具、標本及び模型について、削除希望物品の再調査を会員校へ実施し確定後に削除物品を提案予定

第七号議案 令和7年度 理事会、定時総会日程

令和7年度 理事会、定時総会日程について、以下が承認された。

理事会予定日 令和7年5月12日(月) 13時から

定時総会予定日 令和7年5月26日(月) 13時から

その他

特に無し

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoomでも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、14時40分に終了した。

令和6年12月10日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印